議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

議会広報広聴調査会記録

平成 27 年 11 月 5 日(木)

13 : 30 ~ 14 : 32

議会 第1委員会室

【出席者】 田畑委員長、笹田副委員長

足立委員、柳楽委員、森谷委員、野藤委員、
布施委員、岡本委員、澁谷委員 牛尾昭委員

【事務局】 外浦次長、田中書記

議 題

1 議会報告会の反省について

- ・浜田自治区の参加人数が少ない。PRに工夫が必要。
- ・グループ討議があることを会場に来た参加者に理解できるよう工夫が必要
- ・報告会でパワーポイントの使用は価値があったが、参加者が意見を言いにくい会場の雰囲気になるのではないかと、内容が報告だけでなく他の事を取り入れてほしい。
- ・井戸端会では参加者から感謝の声が聞かれた。
- ・初めての試みだったが、委員会での視察後、研修を開催したことは、委員のレベルアップができた。

2 次期委員会への引き継ぎ事項について

○議会報告会について

- 1 報告会の報告方法が市民にわかりやすくなるよう協議すること。
- 2 議会報告会、地域井戸端会のPR方法を工夫して参加者の増加を図る。
- 3 地域井戸端会での意見要望について、今後の活動に活かす協議をすること。
- 4 報告会、地域井戸端会の名称及び手法について再度協議し、議会報告会がこれまでより向上するよう協議すること。

○市議会だよりについて

- 1 「市議会だより作成の注意事項」を参考にして、創意工夫してほしい。
問題が発生した場合は、その都度協議すること。
- 2 来年度の広報研修には委員全員で参加することが望ましい。

【議事の経過】

[13時 30分 開議]

田畑委員長

では定刻となりましたので、議会広報広聴調査会を開催します。委員の皆さんのお手元に今日の議題について資料が配布されています。この資料の議題1、2、3について、順次進めていきたいと思えます。

1. 議会報告会の反省について

田畑委員長

委員の皆さんのお手元に、5月の議会報告会と10月の井戸端会を実施した報告書を配布していますので、5分くらいで目を通していただいて、各委員からの意見を求めたいと思っています。ではお願いします。

《 以下、5分程度資料黙読 》

それでは5月に行われた議会報告会の報告書を見られての、意見をお伺いしたいと。井戸端会も同じように意見を伺って、ある程度まとめておいて次の改選後の委員会に申し送りしたいと思えます。報告書に関して意見があればお願いします。

田畑委員長

報告書。報告会における報告書があるでしょう。

(「はい」という声あり)

折角、報告会や井戸端会をして、特に5月の議会報告会の後、参加されている市民の方との意見交換会の中で色々な意見が出てくる中で、出席された議員さんが一般質問に活用する所までいければ一番良いんだろと思えますが、一部そういう質問をされた方もおられますが全部が全部というわけにはいかないと思えます。極力議員の役目として、市民の声を伝えるのが役割なので、一般質問に反映させてあげなければいけないという思いがあるので、この報告書について意見があればお願いします。

布施委員

報告書もそうですが、議会報告会も地域井戸端会も、地域井戸端会は今

年度に始まったばかりですが、報告会については3年以上やっています。その中で一番感じたことは、この報告ではないんですが、告知が末端まで行きとどいていない。PR、広報です。今回の地域井戸端会などは特に、旭、弥栄、金城、三隅、この中山間地域における地域井戸端会は参加された方が意識を持って、メインテーマとサブテーマに対して意見を述べられたと思うんです。ただ浜田市は、2ヶ所でやりましたが、来てみて初めて地域井戸端会はどういうことをするの、という感じで。告知したにも関わらず伝わってなかったということが、まずすごく印象に残りました。

それとやはり、いぜんとして参加人数が非常に少ない。その部分、ずっと言われていることなんですが、どうにかして、人数ありきではないですが、参加する人が毎回同じだとか、そういう所を切り崩していかないとマンネリ化していくのではないかという印象を持っています。根本的なことですよ。

澁谷委員

私は報告会は立場として5ヶ所、井戸端会は3ヶ所出たんですが、最初の5ヶ所の報告会については、市民の皆さんから非常にお叱りを受ける場面がたくさんありました。しかしこの井戸端会の最後は、感謝されてお帰りになる方が多かったというか、自分の意見がテーブルで言いやすかったと。挙手してマイクを取るのではなく。その辺は、この地域井戸端会は第1回目でしたが、参加された方は満足された方が多かったのではないかと思います。お叱りがほとんどありませんでした。

野藤委員

澁谷委員が言われたように、ご意見を引き出すようなグループ討議、年2回というように。告知にもよりますが、質問自体も詰問するような感じがしました、報告会では。どうなってるんだと。グループ討議だと、こうした方が良いんじゃないか、こういう感じもあるよと、そういう建設的な意見が出たような気がします。是非私もこれからはグループワークで。テーマはそれぞれだから出るんでしょうが、そのようにしていただけたらと思います。

牛尾昭委員

私もこの委員会に所属して、あっと言う間に6年になるんですが、議会報告会を基本条例に謳って年1回以上という中で、最低の1回しかやってこなかったんだけど、ある種の曲がり角を感じていて。鎌倉へ行こうということで鎌倉へ行って、オープンミーティングの話を聞きながら……話を聞いただけで実際はどうやるかなと検証させてもらって今回取り組んで、非常に良かったなど。議会だよりもそうだけど、僕らのやり方もその都度その都度、状況を確認しながら進化を遂げていくんだと思うので、そういう意味では良い物に出会ったなど。更にもっとレベルを上げるにはどうした

ら良いのかなということに、これからある程度は力を注ぐべきだと思います。

それと、1回はやはりどこかで報告会は必要なんだろうなど。だから報告会についてのやり方をもう少し工夫する必要があるんじゃないかという気がしたので、今後の課題なのかなと思っています。

笹田副委員長

今、副議長も牛尾昭委員も、報告会については市民の方からお叱りを受けたり、課題があるという話だったんですが、その課題を出してもらって次の委員会に申し送りしてあげないと、また同じ形になってしまう恐れがあって。ここの所は反省してこうすべきじゃないかということを経験していただくために、そういった所を挙げていただけると助かるんですけど。

牛尾昭委員

議会報告会はどうしても「何か言ってやろう」と構えて来る市民の方が多かったのも、先ほど仰ったように対決型だったんですよね。だから例えば、議会報告会にて、報告はしないといけないだろうけど、浜田市の懸案事項について例えば1、2、3あったとすれば、それについてどういう見解をお持ちですかとか、そういった課題について市民の方のご意見を伺う。当面抱えている課題、大きい意味での課題です。地域の小さなローカルな課題ではなくて、市が抱えている大きな課題についてどうなんだろうかというような、こちらが意見を聞いてすり合わせるような、そういう方式を取り入れると、あそこまで「ばかたれ」言われずに済むのかなと思ったりするんですけどね。

笹田副委員長

今の話からすると、要は対決型から対話型の報告会にした方が良いということですか。

野藤委員

ああいう島スタイルのグループにして、最初に議会報告をさせていただきますということで議会報告をやって、後で色々質問があればグループワークになった時に質問してくださいということにして、それで議会報告についての質問を受けて、その後で例えばテーマを決めているんだったらそのテーマの中で次をやっていくというように、ミックスさせたような感じはどうですか。

牛尾昭委員

初めて井戸端会をやったので何回かやる必要があるんだろうなと思います。

笹田副委員長

そういう意見が出たことを次に申し送りして、委員会で諮ってもらえない。

布施委員

時間が今回は7時から8時半という時間を決めてやったんですが、対話型になるとどんどん意見が出たり、建設的な意見が出ていくんですが、今は時間の配分がすごく気になるんですよ。何時までにある程度終わらない

といけないとか。時間を考えてやったら、ミックスも出来るんじゃないかと。でも地域井戸端会は答えがあるわけではないですので、重ねることでより良い積み重ねが出来るんじゃないですかね。そのように思います。

牛尾昭委員

それと言いました、鎌倉はもう1回、その後どうですかというのを聞きに行けば良いなど。ある種、ほんの少し先進地だけど2回目以降どうされていますかというのを聞くのも、また一つのやり方だと思ったりします、折角なので。それは次の委員会の方でしょうけど。あと検証も必要じゃないかなと。

足立委員

最初この地域井戸端会って、テーマを3つでぐるぐる回るとというのが最初の話にあったと思いますが、当日会場で皆さんの臨機応変な対応で、テーマを変えずにテーブルに座ったらずっとそのテーブルでやるというやり方で、正直時間がもつのかなと思ったんですが、実際はあの時間で丁度良かったなというのがやってみて分かったので、今回1回目なので今度は2回目、今度はもうちょっと各会場ともテーブルにテーマを大きく掲げるとか、ああしないと自分はどこに座ったら良いのかと、入って来られた方が冒頭……それで議員があそこに座ってください、ここに座ってくださいと全部指示していたので、来られた方が興味関心を持つようなもの、しっかり目立つようなことをやりながらやると、より良い地域井戸端会になっていくんじゃないかと感じました。

柳楽委員

議会報告会の方なんです、3月定例会の内容の議会だよりの委員長報告あたりを元にして報告されるじゃないですか。多分あの場所に来られる方って、割とそういうのを自分でも読んでおられるような方が多いんじゃないかと思うんですよ。あの時間帯は皆さんすごくつまらなそうにしておられて、なのであそこの時間が勿体ないのかなと感じるので、その報告部分をどういう内容にするかが大事な所かなと思いました。

井戸端会については金城の会場での意見でもありましたし、報告内容にもありましたが、今まで自分たちは何回もやってきたんだと、その先へ進まないということに不満があるようで。なので井戸端会の意味として今後、そういった声にどのように対応していけるのかも、大事な所なのかなと感じました。

田畑委員長

金城の会場に行かなかったので推測するには、まちづくりについては普段、まちづくり委員会等で色々話をしているんだということだと思えますよ。それから先、議員は何を考えているんだといえば、執行部の仕事になってくると議会と執行部と……提案は出来るけど執行権はうちにないからね。言われるのはごもっともなんだけど、そういったことを最終的には

会場に来られた方々が、地域の実情をよく把握して一般質問で考え方をただすとかいうことに取り込んでいかないと、やっただけではあまり良い結果にはならないんじゃないかなと。一般質問をしたから良い結果が出るとか、それは別として、市民の声を一般質問上で執行部に伝えるのが大きな役割の一つだと思うので、そういったことも取り組んでいく。そういう所で言うと、一般質問でもなかなか出てきてないのが現状なので、その辺は議員さん各人で色んな思いがあるかもしれないけど。

笹田副委員長

委員長とも話をしている、今回この委員会が終わってしまうので申し送りをせざるしかないが、今回はこれやって、我々も手探りの状態でテーマも「答えなんてありませんよ」という話をやってきているので、報告書をホームページに上げさせてもらって、今後全部委員会に付託してというのは無理だと思うんで、目に見えやすいもの等は各委員会で訊いても良いでしょうし、一般質問に取り上げる必要があるとすれば取り上げれば良いし、今回のことについては。今後の手法は変わるかもしれないし中身も変わるかもしれないので、そういった意味で申し送りさせてもらって、井戸端会良かったよね、という意見が多かったので、どう進化させていくかは次の委員会に委ねて、それをどうやって取り入れていくかを考えないと難しいのかなと思います。

田畑委員長

基本条例にて、議会報告会を年1回以上実施して、それから今回4月に鎌倉へ行って、浜田流で言えば井戸端会をやるということ、初めての取り組みでありながら多くの市民の方に各会場に来ていただいた。そうした中で参加された方は、本当に良い会だったと。当初イメージしていたのは、20分くらいでローテーションで回ったら良いんだろうというのがあったんだけど、意見がどんどん出るから、弥栄会場ではそのように最後に言ったんですが、それはそれとして良かった。これが次の委員会でもう1回2回やれば、20分くらいのサイクルでローテーションで回っていけるということになれば一番良いんだけど、ローテーションで回るのが本当に良いかどうかということもあるし。鎌倉ではそうかもしれないが、鎌倉のやり方が浜田にマッチするのかなという部分もありますので。

これから次の委員会で、井戸端会の報告書を見ながら全議員の皆さんがそれぞれの会場に参加されているのなら、全く白紙の段階ではありませんので、とりあえずはもう1年井戸端会を実施していきながら、先ほど牛尾昭委員が言われたように、再度鎌倉へ行ってその後を見てくることも良いのだろうかと思います。その他、井戸端会について。

岡本委員

私も井戸端会について非常によかったのかなあ、アンケートも満足であ

ったり普通であったり、来年以降もしていただきたいと。冒頭に布施委員が言われましたが、那賀郡について非常に参加率が高い、その背景を、取りあえず私が知る範囲では支所が出す……放送で流すでしょう。

(「行政防災無線だ」という声あり)

あれの効果が高いんだろうなど。市の職員も参加してくれる形があって、それはそれなりの形ですと結果が出ているし、参加した人は井戸端会は意見を言いやすかったとあるんですが、問題はこの浜田です。浜田は色々やっても人がなかなか集まらないというのが課題である。このことを、検討したけどなかなか上手いこといかなかったことを申し送って、どのようなPRの仕方、参加を促すような手法はご検討されたいと、申し送りされたらどうかなど。

それと、議会報告会と井戸端会は若干違うべきである。同じことをやっていたら、いずれは「また同じことをやっている」となる気がするので、議会報告会のあり方については同僚議員が言うように、少し分かりやすいというか、そこまで躊躇しないでもっと楽に皆さんから意見が貰えるように、それから井戸端会の手法について、プラスアルファは結果を報告してあげるといふこと。ご検討してもらいたいと思います。

田畑委員長

いま、岡本委員からありましたが、特に三隅、金城、旭、弥栄では地域の問題が大きいから、弥栄など何が問題なのだろうかということをお自治区長たちに先に打診をして、出していただいた。弥栄では非常に若い方がIターンされて、意見交換したので、よかったと思う、5月報告会と同じことをするのであれば、報告は報告としては、しなければいけないだろう、常任委員会から重要案件の案件が2つないし3つ出ていると思うがそれぞれの各地域に合う案件で意見交換したらどうか、このたびの同じようではどうかと思う。

布施委員

それに関してではないが、今回新しくパワーポイントをした。それに関しては皆さんから何も無いが、やったほど価値はあったと思うが、ただ、全てパワーポイントでもしてもいいのかなということはあると思う。強調するところは使って、後はざっくりばらんで話ができるように委員長報告だけでなく普段伝えられないところがあると思うが、委員会とかこういう感じでしていますということをお写真とかで、あるところでお言われた。議会よりも文字だけでは面白くないのでパワーポイントなどの写真を入れてやった方がわかりやすいのでは。

笹田副委員長

ひとつ、ああいう風にパワーポイントを使うとかしこまって意見が言いにくい。と言われた。今回は意見が言いやすい。あそこだと思う。あれを

会議的に映し出すと普通の市民の方は喋りづらいのだろうなという感じ
です。報告会に関してはそれでいい思う。

森谷委員

皆さんは後援会組織をお持ちだと思うが、日頃から市民の意見を聞いて
おられるだろうが、市民も言っている。で、こういう会に参加は後援会の
人が多いのか。それとも機会がないから来られるのかその辺を知りたい。
私の場合は後援会がないからイメージがわからない。そうでない人が来てい
るのであればこの数字はそこそこいい数字。どうでしょうか。

牛尾委員

これ自分の地盤に行かないようにしてるじゃない。弥栄行ったけど知って
いる人いないよ、なるべくそういうことにしてある。

田畑委員長

とにかく行政に興味のある人しか来んでは。後援会のメンバーでも、
浜田から出張して三隅の方まで来る人もいますから。何とも言えないが、
対決ムードです。三隅の公民館でも後援会の会員の人が2.3人はいるが、
やっぱり行政に興味のある人。

森谷委員

とにかく後援会に入っている人はガス抜きする機会はあるが、その人た
ちも参加するのかな、それは興味がある人。私はサンドイッチマンの恰好
してBBとかで、大きな字で「不満・提案がある人は声をかけてください」
と歩いた。があまり言ってこない。目を合わそうとしない。それは個人個
人やっている成果があれば、こういうところに来る人は減るのではないか。
ガス抜きで来ているから。

布施委員

石見では、確かに動員かけるためには自分の地区の人の声はかけた、そ
の人が後援会に入っているかどうかは分からないけど、自分の地盤で。周
布でやるときも議員としての声をかけた。くる来ないは別。

森谷委員

日頃から議員が声を聞けば聞くほど、こういうところに出るのことはな
いので悲観することではない。

田畑委員長

おっしゃるとおりで、普段から我々がそれぞれの地域の行っている話
をしていると、聞いてますよということですよ。いろいろ意見が出ました
が、意見を集約して今後どうなるかということになると、これは委員会構
成が変わりますので、ここでどうのこうのいうわけにはいきませんが、い
ずれにしても5月の議会報告会、10月の井戸端会、名前は今回はこうつけ
ましたが、次の委員会構成では、一応今回と同じような形、やり方にして
頂けたらと思います。やり方は公民館に来られる方々と、意思の疎通が
できた時点で、グループ討議のローテーションするとか、来年すぐできれ
がいいが無理をする必要もない。委員会構成が変更になっても、5月の議
会報告会と10月の井戸端会については実施をしていただきたい。というこ
とを申し送りしたい。よろしいですか

(「はい」という声あり)

岡本委員

森谷委員が言ったことと関連しているが、アンケートの集計で浜田の方を見ると議員からの声かけが圧倒的に多いのですよ。だから議員が声をかけるのはいい。次に議会だよりを見たよが多いので、つぎの委員会に申し送りをして、浜田では議員が声をかけた人の参加がある

笹田副委員長

委員長の話をもとめて足りなかったら言ってください。

まず、1点目に報告会については報告方法を再度考えてほしい。わかりやすいように。2点目はPR方法、報告会、井戸端会のPR方法をもっと考えて、人を集めてほしい。3点目が井戸端会での市民への還元方法、内容についての還元方法を考えてほしい。4点目が報告会、井戸端会の名称及び手法について今後、委員会で進化してほしい。この4点で申し送りをしたい。この方法でよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

2. 次期委員会への引き継ぎ事項について

田畑委員長

議会報告会については、さきほどから話をしましたので、よろしいかと。委員の皆さんのお手元に注意事項があると思いますが、見ていただいて、
(資料により説明)

これをこのまま引き継いでいこうと思います。

(引き継ぎ書を委員で協議)

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

岡本委員

いいですか。先般、野藤委員と田中と研修会に行きましたが、何人か選出されて行くよりも新しいメンバー全員で行かれてはどうか。講師先生もおられますし、他市の市議会議員もいます。参考になることがたくさんあります。予算」の関係があるかもしれませんが全員で行くことが望ましいと。検討してください。

森谷委員

原稿にマス目があるものをPCに入れておいて使っては？字数を数えなくてもよいのでは？また、笹田議員は文字の間違いによく気がつくが、間違いノート作っては？実際にこういう間違いがあったという方が、わかりやすいのでは。

田畑委員長

今の話ですが、印刷屋に原稿が行けば行数が変わってくるが、委員会が目をかけないといけない部分もある。

田中書記

3番を見てください。赤字のところ、組版ルールというのがあって、印刷業さんでソフトに入れることによって、組版ルールが反映、赤のところ、

どうしても機械が句読点など次の行に付けてくるということがあって、というお話を印刷業者から聞いたので、おおきい3番のところで、③の調査会で事務局が作成した原稿をもとに編集作業、これについては、皆さんが持ってこられた原稿を私の方でパブリシャーに貼り付けて、そこで文字数の確認をして、皆さんに提示、そこで文章の校正、文字数、脱字などを見てもらう作業を今までもしていました。それをもとに印刷業者が校正原稿を作成されます。その時に組版ルールが反映されて、句読点等がついていたら、次の行にいくということになります。ここに書いてありますが、「印刷業者の作成した校正原稿は、組版ルールに則って作成されるため、個人一般質問以外は、字数・行数は確認しなくてよい。」という風にしたのですが、これを、印刷業者に出したことによって、皆さんは一切見ない。という風にすれば、業者にお任せということで、いいのではないかと思います。それで、業者から帰ってきた校正原稿を見たときに、自分たちで修正した箇所がきちんと直っているか、行数、文字数は見ずにそこだけを確認するとか。いかがでしょうか。

笹田副委員長

先日業者を入れて正副で協議をさせてもらいました。森谷委員が無駄な時間が多いということで、それを省こうということにしました。ですが、一般質問だけは、議員が持っているスペースなので、それは確認して、行が多かったら不公平ですので、チェックしましょうということ。一般質問だけは、文字数、行数等を確認して、それ以外の委員会報告とか視察の報告などは、ルールに従ってやろうということにしたらどうでしょうか。

田中書記

それで、業者もできたものを手直し、手動でしなければならないので、手間がかかる。副委員長が言われたように、一般質問に限ってはうちの方で校正作業の時も確認していただく、最後まで見ていただきたい。どうでしょうか

田畑委員長

一般質問については従来通りで、それ以外は業者に任せるということでいいですね。

(「はい」という声あり)

澁谷委員

申し送りはその方がいい。又新しい委員会でも考えてもらう。

3. その他

田畑委員長

そのほかは全体を通して、

森谷委員

字数制限があって、皆さんも言い足りないと思う。何人かは自分のHPに飛ばせる人もあるだろうし、例えば議会のHPに飛ばして、思い切り言いたいことが言えるように。また、QRコードなどいれて字数制限がないように

田畑委員長

すればいい。反対理由の掲載みたいに。工夫をしてほしい。

次の委員会に申し送ります。

これをもちまして、議会広報広聴調査会を終了します。長い間ありがとうございました。

[14時 32分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 田畑 敬二